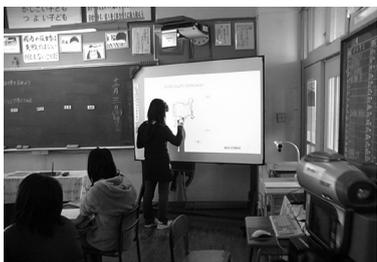


NEWS CLIP & AV MATERIAL

● ニュースクリップ&映像教材



■平成20年度先導的教育情報化推進プログラム事業

(財)日本視聴覚教育協会では平成19年度から文部科学省の委託を受けて、標記調査研究を継続実施しているが、昨年12月3日、調査研究協力校である宮城県栗原市立大岡小学校において、ICT活用授業研究会・研修会が開催された。写真は、本事業で準備の手間の軽減を考慮し、今回新導入した超短焦点プロジェクター付き電子情報ボードを活用した算数科の授業。

NEWS CLIP

AV情報

■文化庁「平成21年度文化芸術振興費補助金」

文化庁では、我が国の優れた映画の製作活動を奨励し、映画芸術の振興を図るため、日本映画の製作活動を支援することを目的に、標記補助を行う。

〈補助の対象となる活動〉 補助の対象となるものが自ら製作する劇映画、記録映画及びアニメーション映画等の日本映画の企画から完成までの製作活動のうち、作品として完成された状態による試写会が平成21年4月1日(水)～平成22年3月31日までに行われるものとする。要領は、http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/eiga_eizou/sien/21_hojokin_boshu.html参照。

〈募集期間〉 第1回 平成21年1月5日(月)～9日(金)、第2回 平成21年7月6日(月)～10日(金)

〈問い合わせ先〉 文化庁文化部芸術文化課支援推進室メディア芸術振興係

TEL03-5253-4111内2083

FAX03-6734-3815

■平成21年度芸術文化振興基金助成金

(独)日本芸術文化振興会では、国内の映画祭等の活動に対して助成を行う。

〈分野〉 国内映画祭、日本映画上映活動。要領は、<http://www.ntj.jac.go.jp/>参照。

〈応募書類提出期間〉 平成21年1月5日(月)～9日(金)

〈問い合わせ先〉(独)日本芸術文化振興会基金部芸術活動助成課

TEL03-3265-3216

FAX03-3265-7477 (月～金10:00～18:00)

研究会情報

■平成20年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」

国公私立大学を通じた大学教育改革を積極的に支援するプログラム(「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」等の13プログラム)に選定された取り組みが一堂に会し、意見交換や議論を交わすことにより、その取り組みの教育的財産の共有を図ることを目的に、文部科学省及び

▶ブックレビュー



『NHK道徳ドキュメント モデル授業 感動・葛藤 から学ぶ新しい道徳の実 践』

諸富祥彦・永田繁雄監修
土田雄一・山田誠・林泰成編集
(株)図書文化社 B5判
2008年11月刊 152頁
2,310円(税込)

担任が道徳の授業を考える時に、一番悩むことは、その時間の内容項目に迫るために使う資料である。

正にそのことに注目されて、この本のまえがきで、監修された諸富氏が述べられている。『そんな先生方に、よいニュースです！ここに、道徳授業の最高のネタ(資料)があります。しかも映像です！(後略)』と紹介されている。長年道徳教育をリードされてこられた永田氏は、このNHKの取り組みを『ダイナミックな指導へと指導方法を拓く』とこの番組への期待を述べられている。

道徳教育の大切さが叫ばれながら、現場で道徳の授業に自信をもって臨める教師が少ないことを考えると、期待の大きさも理解できる。

教師は今も道徳の授業づくりに悩んでいる。その

意味では、教師にとって多くの実践に触れることは、何よりの助けとなる。本書では、放映された9本の番組における放送ごとの資料と指導案、ワークシート、指導の記録、成果までが紹介されている。

また、この本は、解説本であると同時に映像メディアや番組ホームページと読者を結ぶ役割も担っている。きっとこの本の読者はホームページを見たくなり、DVDを視聴したくなるだろう。その逆も大いに考えられる。

映像メディアの優位性と弱点を編集者である林氏が本書で述べているが、私もその点を忘れてはならないと思う。「現実小説よりも奇なり」である。映像視聴力を教師も、児童も身につけていないと、ドキュメント(現実)に抗うことができず、課題意識もモラルジレンマも感じることもないまま、視聴した15分で授業は終わってしまうことも考えられるからである。

そういった意味でも本書は親切である。年間指導計画の作成では、『読み物資料と映像資料をバランスよく配置する必要がある』(土田氏)ことを勧めているのである。それは、この本自身が、その両方の特性を兼ね備えたものであるからであろう。

(日本学校視聴覚教育連盟常任幹事・

東京都大田区立馬込小学校副校長 小田容広)

(財)文教協会による標記フォーラムが開催される。

〈日時〉平成21年1月12日(祝・月)・13日(火)

〈会場〉パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

〈内容〉○基調講演:安西祐一郎氏(慶応義塾長)
○パネルディスカッション「学士課程教育の構築に向けて(仮)」,司会:濱名篤氏(関西国際大学長)、パネリスト:郷通子氏(お茶の水女子大学長)、黒田壽二氏(金沢工業大学学長・総長)、諸星裕氏(桜美林大学大学院教授)他○各プログラム別の分科会○ポスターセッション

※事前申込制

〈問い合わせ先〉(財)文教協会「大学教育改革プログラム合同フォーラム」事務局

MAIL forum@bunkyo1.org

■平成20年度情報教育対応教員研修全国セミナー

(社)日本教育工学振興会では、「学校を変革する 地域教育ネットワークセミナー-地域ネットワークを教育に活かす-」をテーマに、標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成21年2月13日(金)10:00~16:30
(9:30受付開始)

〈場所〉三田NNホール&スペース(東京都港区芝4-1-23)

〈対象〉教育委員会、教育センター、教育研究所、地方自治体の情報政策関連部門、教職員。

〈定員〉120名。参加費無料。本ページ<http://www.japet.jp/japetseminar/seminar20090213/>から事前申し込みを。

〈内容〉講演「教室でのICT機器、デジタルコンテンツの活用」中川一史氏((独)メディア教育開発センター教授)、「オアシスコンテンツ(NHK高画質動画コンテンツ)の活用実践」加納真氏(静岡県沼津市立片浜小学校教諭)、「新学習指導要領について-情報教育-」永井克昇氏(文部科学省初等中等教育局視学官)、「三鷹市教育委員会の校務情報化への取組みのご紹介」新藤豊氏(東京都三鷹市教育委員会教育部総務課総務・教育センター担当課長)、「校務情報化の現状と課題-セキュリティを中心に-」藤村裕一氏(鳴門教育大学准教授)

〈問い合わせ先〉(社)日本教育工学振興会

TEL03-5575-5365

コンクール情報

■ ゆふいん文化・記録映画祭「第2回松川賞」作品募集

標記映画祭（平成21年5月29日～31日）開催に先立ち、主催者であるゆふいん文化・記録映画祭実行委員会では、下記の映画作品を募集する。

〈応募作品〉 ドキュメンタリー・文化・記録・科学・教育映画、テレビ番組など。1作品60分以内。過去5年以内に制作されたもの等。他詳細は、<http://movie.geocities.jp/nocyufuin/home.html>参照。

〈募集締切〉 平成21年3月10日（火）

〈賞〉 大賞は賞金10万円。入賞作品（5作品程度）については、制作者（各1名）をゲストとして「第12回ゆふいん文化・記録映画祭」に招待。

〈問い合わせ先〉 ゆふいん文化・記録映画祭実行委員会「松川賞」事務局 TEL・FAX0977-84-4424

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

■11月選定 紙紙しばい/ビデオ/DVD
「うんち うんち ぼっとな」紙8枚〈幼稚園/幼児、教養〉(株)童心社

「うごくえほん チルビー vol.4 ぎゅ〜っと、だっこの巻」D30分〈幼稚園/幼児、教養〉(株)モーニング

「月とあざらし(小川未明童話集所収)」D19分〈小学校(小中高学年)・中学校、国語/少年・青年、教養・情操(童話・寓話)〉(有)スタジオトゥインクル

「夢 その先に見えるもの—日本人サラリーマンとギニア人医師の友情—」D83分〈少年・青年・成人、教養〉(株)TM OFFICE

「最新版 心肺蘇生法とAEDの使用法 私たちの行動で救える命」ビデオ23分〈青年・成人、健康・スポーツ(保健・衛生)〉(株)映学社

発見！人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。

〈放送についての問い合わせ〉

(財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

■36回 10日「ただのいぬ。—それでもぼくらは生きている—」(山陰放送)

■37回 17日「拳の先に 熱血ボクサーと大池ジムと子どもたち」(日本海テレビジョン放送)

■38回 24日「お母さんのパス—心でつなぐ車いすサッカー—」(北陸放送)

■39回 31日「少年町長のマニフェスト—まちを変える！主役は高校生—」(山形放送)

エル・ネット

今月の主な新着コンテンツは、下記の通り(<http://www.elnet.go.jp>)。

[各機関の取り組みから]

○データで検証する「早寝早起き朝ごはん」運動事例発表会(生涯学習政策局男女共同参画学習課)〈1ch 文部科学省から〉

[新着コンテンツ]

〈1ch 文部科学省から〉

○「発見！人間力」「とうがらしの育つ家」「クラシックが響く街へ—指揮者・飯森範親の挑戦—」((財)民間放送教育協会企画)

〈3ch こどもコンテンツ〉

○「おもしろ工作☆ペッタン」「みんなでわいわい谷津田で稲刈り!」「夜須高原子どもユーモア講座(高座)「博多にわか」から学ぶコミュニケーション術」「高校生の手づくりおはなし会」((独)国立青少年教育振興機構制作)

放送番組・web配信

中学生日記

(土) 19:15~19:44 / NHK教育

翌週(土) 14:00~14:29 / 再放送 NHK教育

※都合により番組内容が変更となる場合があります。

■10日「図書室パラダイス」

(平成20年9月27日放送分)

■17日「リサイクルバンド」

■24日「先生への脅迫状(仮)」

■31日「マットの下の秘密(前篇)」